

ブリンクデザイナー操作説明書(V3.0.0)

1. はじめに

ブリンクデザイナー(Blink designer)をダウンロード頂き ありがとうございます。
キラキラを楽しみたい、デコレーションを学びたい。携帯デコ(携帯デコレーション)からはじまり、身の回りのアイテム全てにデコレーションを行うブリンクアートへと進化してきました。

より多くの方にブリンクアートを楽しんでいただきたいと、パソコン上で携帯デコレーションが体験できる本ソフトのご提供をいたします。

本ソフトはデコレーションをパソコン上で容易にデザインできますので、

- ・デコレーションをパソコン上で楽しむ。
- ・デコレーション作成の前にいろいろなデザインを考えて楽しむ。
- ・友達などに作成したデザインを送付して、デザインを話題にして楽しむ。
- ・紙印刷して表示札などにして楽しむ。

などなどで楽しんでいただくことで、より多くの方にブリンクアートを学ぶきっかけとなっていれば幸いです。

なお、ストーン形状や色はスワロスキーストーンをモデルに作成しておりますが、実際の製品形状や色とは異なりますのでご了承ください。実際のストーンデザインでは、より綺麗でキラキラしたものが作成できます。

2. 動作環境

- ・OS: Windows7/8/10
- ・表示装置: 15.6 ワイド(解像度 1366×768ドット、最大表示色 1677 万色)を推奨

3. デザイン機能概要

・デザイン技法

- ① 整列埋め ②並列埋め(横) ③並列埋め(縦) ④自由配置

(自由配置へはデザイン途中で切替可能)

- ・ストーンサイズ: ss03～ss48 の 14 種類から1種類を選択
(自由配置では、同一デザイン図内に全種類のストーンサイズの配置可能)
- ・ストーン色: 24 色設定、ユーザにて色の修正/追加可能
- ・ベースサイズ: 縦: 最大 100mm程度 幅: 最大 200mm 程度
- ・ベース背景色: 1677 万色 (R(赤): 0～255、G(緑): 0～255、B(青): 0～255)
- ・デザインの画像出力(携帯などに転送して閲覧可能)、印刷機能
- ・背景画像、背景図(四角、丸、菱形状)および背景文字の表示によるデザイン支援機能
- ・デザイン設計画像出力(会員 ID 必要)
ストーン別に使用個数算出し、Jpg 画像としてファイル出力または紙印刷
- ・デザインファイルのインポート/エクスポート機能
作成したデザインファイルを他 PC と連携可能

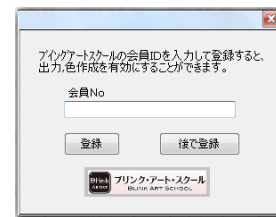
4. インストール

- (1)ダウンロードした Blink desiner.zip ファイルをデスクトップ(任意の場所で可)に置く。
- (2)ファイルを右クリックし、“すべて展開” のコマンドをクリックして解凍する。
注) 解凍できない場合は、zip ファイルが解凍できるフリーソフトインストールください。
- (3)展開したファイルにある、“Blink_desiner.exe”をダブルクリックすると、立上がりします。

「展開すると以下のファイルがあります」

- ・Blink_desiner.exeダブルクリックすると動作開始
- ・操作説明書.pdf本書
- ・必ずお読みください.txt
- ・Stone(フォルダ)
- ・stonecolor.txt(ファイル)

- (4)会員IDの入力画面が表示されますので、“後で登録”をクリックすると、メイン画面が表示されます。



以上でインストールは終了です。

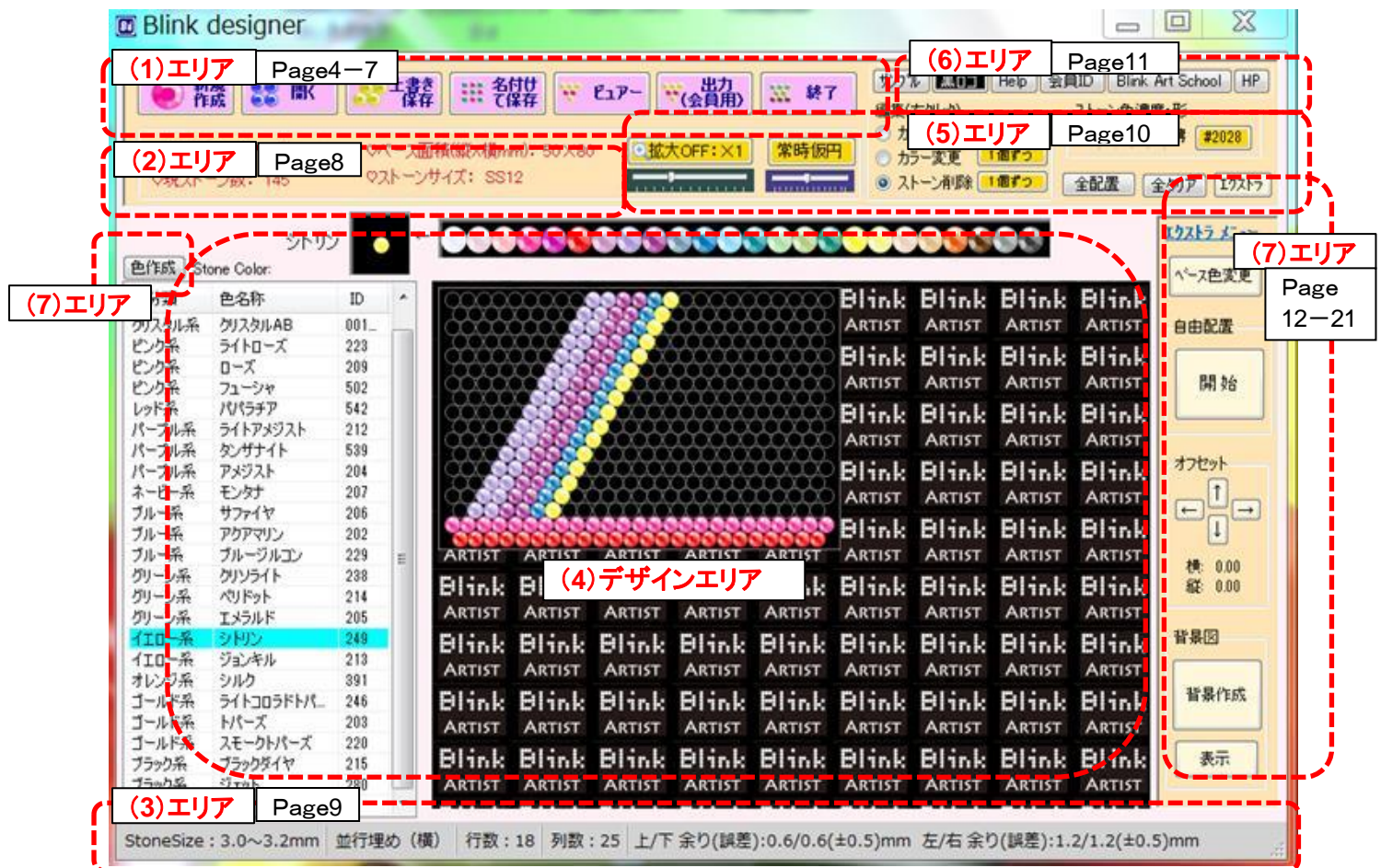
- 注1) インストール直後に表示されたメイン画面で操作すると、“stonecolor.txt をインポートしてください”とアラーム表示される場合があります。この場合は、一度終了してから再度本ソフトを起動するとアラーム表示しなくなります。

5. アンインストール

- (1)フォルダごとゴミ箱へ削除する。
以上でアンインストールは完了です。(レジストリはいじってありません)

6. 操作概要

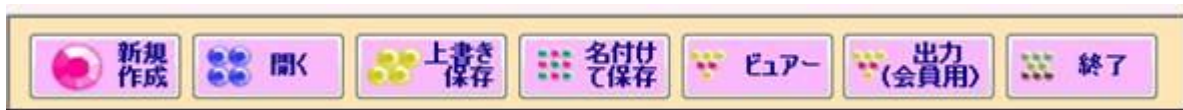
＜デザインメイン画面＞windows7 の例



基本の操作方法 : 詳細操作方法是各エリアのPageを参照ください。

- ・(1)エリアの**新規作成** ボタンを押し、各種値を設定してデザインエリアにパターン図を生成する。
↓
- ・(4)デザインエリアの色名称または**カラーストーン**をクリックしてストーン色を選ぶ。
↓
- ・(4)デザインエリアに生成されたストーン仮円を**左クリック**するとストーンが置かれます。また、**左クリックしたまま矢印を動かす**と連続してストーンを配置できます。
↓
- ・配置ストーンを削除や変更する場合は、(5)エリアの編集欄をチェックして、編集したいストーンに矢印を合わせて、**右クリック**を行うと編集できます。
↓
- ・作成したデザインは、(1)エリアの **名付けて保存** ボタンを押して保存する。
- ・(1)エリアの **ビュアー** ボタンを押すと、作成したデザインを回転やキラキラさせて見ることができる。また、画像出力して、メール添付送信で友達などに送ることができます。さらに、印刷して表示札などにも利用できます。

(1)エリアの機能説明



新規作成 新しいデザインパターンを設定。

・クリックすると右図のフォームが表示されます。

現在のデザイン画面の値が表示されますので、必要な箇所を変更して、

新規設定 ボタンを押します。

＜ベースサイズ＞

・デザインするベースの大きさを設定します。

縦: 10～110mmで任意値を入力

横: 10～250mm で任意値を入力

(数字右側の矢印を押して数字を変える。また、数字欄に直接値を入力もできます)

＜ベース色＞

・デザインするベース色を設定します。

・黒、ゴールド、グレイ、シルバー、Lグレイ、ホワイトの色ボタンを押すと、押された色にベース色を設定できます。

・**色の作成** ボタンを押すと、色設定画面が表示され、任意の色に表面色を設定することができます。(1677 万色 R(赤):0～255、G(緑):0～255、B(青):0～255)

注) 詳細な色設画面の操作方法は、ストーン色の新規作成 (Page 13) を参照してください。

＜ストーンサイズ/平均サイズmm＞

・値をクリックすることで 14 種類のストーンサイズから 1 種類を選定します。

選定している値は、表下の設定値に表示されます。

＜技法＞

・石の配列方法を決めるもので、3 種類の技法から 1 種類を選定します。

＜行・列数の設定＞

・デザインのストーン配列の行数と列数を設定します。

自動設定: ベースサイズとストーンサイズから自動計算して設定します。

手動設定: 手動設定をチェックすると、行、列設定できる数値ボックスが表示されますので、希望の数値が設定できます。(数字右側の矢印を押して数字を変える。また、数字欄に直接値を入力もできます)

開く 作成保存されたデザインファイルを開く

- ・クリックすると右図のフォームが表示されます。

＜ファイルを開く＞

- ・保存してあるファイルがすべて表示されるので、開きたいファイル名をクリックして選定する。
- ・**ファイル開く** ボタンを押す。

注意) Dドライブに作成された¥stone フォルダに保存されているファイルを表示します。

＜ファイルの削除＞

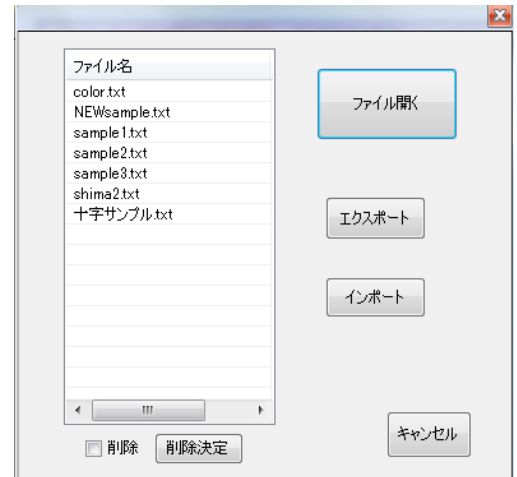
- ・ファイル名表下の削除チェックボックスをチェックする。
- ・ファイル名表で削除したいファイルをクリックして選定する。
- ・**削除決定** ボタンを押す。(削除したファイルは元に戻せませんので注意のこと)

＜エクスポート＞

- ・ファイル名表でエクスポート(ファイル出力)したいファイルをクリックして選定する。
- ・**エクスポート** ボタンを押す。(コピーされたファイルがデスクトップに出力されます)

＜インポート＞

- ・**インポート** ボタンを押す。
- ・デスクトップのホルダーが表示されますので、読込したいファイルを選定して OK ボタンを押す。
(読込したファイルがファイル名表に表示され、開くことができます)



上書き保存 開いたファイルを修正して保存。

- ・右図の保存フォームが表示されます。
上書きをする場合は**OK**ボタンを押します。



名付けて保存 新規作成したファイルに名前を付けて保存または、開いたファイルを修正して新しい名前で保存。

- ・Stoneホルダが表示されますので、ファイル名を入力して、**保存** ボタンを押します。

ビューアー 作成したデザインを楽しむ。

- ・クリックすると下図のフォームが表示されます。



<画像回転>

- ・チェックをすることで、0、90、180、270 度に画像回転して見ることができます。

<キラキラ>

- ・**Start** ボタンを押すと、画像上に星が移動して、キラキラ輝かせて楽しむことができます。Speed レバーを動かすと星の移動速度を変化させることができます。**クリア** ボタンを押すと星をクリアできます。キラキラ星は画像出力や印刷では出力されません。
- ・**1段づつ表示** ボタンを押すと、画像の一番下からストーンを1段づつ表示しますので、実際のストーン配置作業をイメージしながら見るすることができます。
ただし、回転角度が0度で、星が動作停止中の場合に動作します。

<画像出力>

デザインした画像の出力ができますので、友達の携帯等へ出力画像をメール添付して送信することで楽しんでもらうこともできます。

- ・画像拡張率を変化させると、画像のサイズを変更できます。画像容量やサイズ(ピクセル)を参考に
にして変更してください。
(携帯画面のサイズ(ピクセル)と合わせると画像の大きさが画面と合います)
- ・画像出力先は、Desktop(デスクトップ)またはDocumentホルダが指定でき、また、保存画面にてホルダを変更すれば任意のホルダに出力できます。
- ・**画像出力** ボタンを押すと画像出力が実行されます。

<画像印刷>

画像回転や画像拡張率による画像拡大/縮小した状態で印刷できますので、作成したデザイン図を飾ったり、表示札などとして楽しむことができます。

- ・**ページセット** ボタンで用紙の余白等を設定します。
- ・**プレビュー** ボタンで印刷ビューを見ることができます。
- ・**印刷** ボタンでプリンタ等の設定を行い印刷実行します。

出力(会員用) ストーン色別個数を算出し、デザイン設計図として画像出力。

(会員 ID を入力すると有効になります)

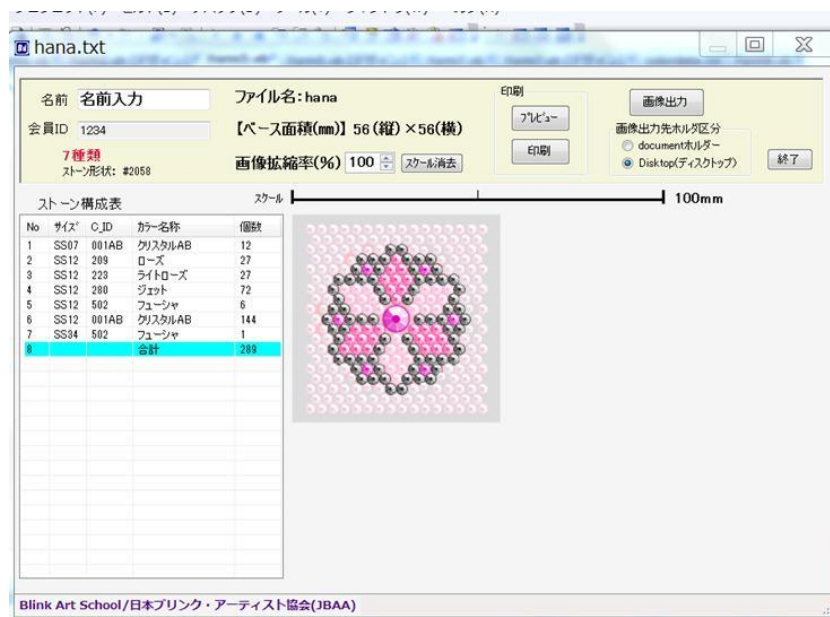
- ・クリックすると下図のフォームが表示されます。
- ・名前欄に名前を入力する。
- ・ストーン構成表の下段のストーンが表示されてない場合は、フォーム最大化ボタン(右上の□)をクリックして大きくしてください。
- ・ビュー画面と同様に画像拡大縮小(%) (100 表示の右側の▼を押す)により画像サイズを変化させることができます。
- ・100mmスケールが表示されますので、出力画像の大きさをイメージできます。
(**スケール消去** ボタンで消すこともできます)

<紙印刷>: 最下段の“印刷サイズについて”を参考にしてください

- ・**プレビュー** ボタンを押すと印刷状態が確認できます。
(A4 横の印刷プレビュー画面が表示され、印刷状態が確認できます)
- ・**印刷** ボタンを押すと印刷フォームが表示されますので、印刷ボタンを押して印刷します。
(印刷用紙は A4 横の設定です)

<画像として出力>

- ・**画像出力** ボタンを押すとデスクトップ(デフォルト設定)に、“名前+ファイル名.jpg”のファイル画像が出力されます。



(印刷サイズについて)

- ・プリンタ機種や印刷設定により印刷サイズが変化します。デザイン図を実寸法(ベース設定値)とほぼ同等サイズに紙出力するには次のようにします。

- ①紙印刷した画像のスケール 100mmを物差しで測定する。
- ②測定値から画像拡大率を算出する。

例) 印刷したスケール長さを測定したら 110mmだった場合、
 $100 \div 110\text{mm (測定値)} \times 100 = 91(\%)$

- ③画像拡大率を変更(例: 91%に設定)して再印刷する。
 * 1%変化させると約 1mm印刷長さが変化します。

(2)エリアの機能説明

♡必要平均ストーン数: 300 ♡ベース面積(縦×横mm): 40×80
♡現ストーン数: 300 ♡ストーンサイズ: SS12

<必要平均ストーン数>

- ・新規作成で設定したベース面積の縦と横サイズと平均ストーンサイズ(*)から算出した必要平均ストーン数を表示します。このため、実際のデコレーションではストーンサイズのバラツキと配置密着度により必要ストーン数は多少変動します。

＊ 平均ストーンサイズ＝ストーンのバラツキの平均値

例) SS12 サイズの場合、ストーンは 3.0～3.2mm のバラツキがあると言われている。

よって、平均ストーンサイズは中心値の 3.1mm として計算している。

参考)

- ・自動設定の場合、必要平均ストーン数は次を満足するような行・列のストーン数から算出します。

(整列埋めの場合の式)

・縦長さ-(平均ストーンサイズ×ストーン数)-誤差>0を満足する最大ストーン数(行数)

・横長さ-(平均ストーンサイズ×ストーン数)-誤差>0を満足する最大ストーン数(列数)

⇒必要平均ストーン数＝行ストーン数×列ストーン数

<現ストーン数>

- ・ベース面積に配置が完了したストーン数をしめす。

<ベース面積>

- ・新規作成で設定したベース面積をしめす。

<ストーンサイズ>

- ・現在選定しているストーンサイズをしめす。

(3)エリアの機能説明

StoneSize : 3.0~3.2mm 整列埋め 行数 : 12 列数 : 25 上/下 余り(誤差):1.4/1.4(±0.4)mm 左/右 余り(誤差):1.2/1.2(±0.5)mm

<Stone Size>

- ・現在選定されているストーンサイズを mm(ミリメートル)でバラツキ値を含めて表示

<並行埋め(横)>

- ・現在選定されている技法を表示

<行数>

- ・現在設定されている行数を表示

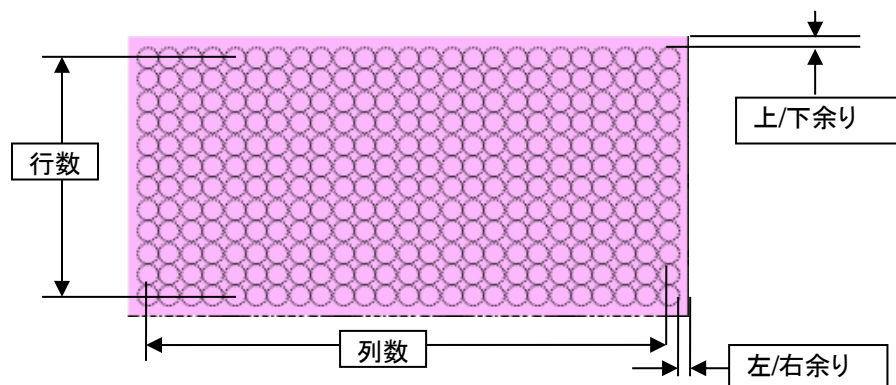
<列数>

- ・現在設定されている列数を表示

<上/下余り(誤差)> <左/右余り(誤差)>

- ・ベース面積の横/縦寸法のストーンが配置できない残りの余白分を示し、ストーンサイズのバラツキを統計的に処理した変動値を加味した余白値を示す。カッコ内は誤差値を示す。

注)ストーン配置は密着とした余白値。実際の配置では密着しない箇所もでるため、余白は少なくなる方向にあり、余白が少ないとストーンがはみ出る可能性があるので注意が必要である。



(5)エリアの機能説明



拡大OFF: ×1 のボタン

- ・押すとデザインが拡大して表示されます。デフォルト値は 1.4 倍で、下のスライダーを動かすと最小 0.6 倍～最大 3 倍まで拡大できます。細かなところや大きなデザインを小さくして作業する場合に利用してください。

常時仮円 のボタン

- ・デザインの仮円を常時表示します。押すと **自動仮円** に変化して、デザイン内にマウスのカーソルがある場合に仮円を表示し、デザイン内から下側方向にカーソルを移動すると仮円が消えた状態になり、仮円なしのデザイン確認ができます。
- ・下のスライダーを動かすと仮円の色が変化しますので、ベース色によって仮円が見難い時に使用してください。

編集(右クリック)

変更したいストーンに矢印を合わせ、右クリックします。次の3方法から選定します。

<カラー変更>

- ・配置済みのストーンの色を、現在選ばれている色に変更します。
- ・右にあるボタンにより動作が変わります
- 1個ずつ**の場合: 右クリックしたストーンのみ色変更
- 同色全部**の場合: 右クリックしたストーン色と同色ストーンすべて色変更
(色々なストーン色を試して、好みの配色を見つけられるよ)

<ストーン削除>

- ・配置済みのストーンを削除します。
- ・右にあるボタンにより動作が変わります
- 1個ずつ**の場合: 右クリックしたストーンのみ削除
- 同色全部**の場合: 右クリックしたストーン色と同色ストーンすべて削除

<カラー抽出>

- ・配置済みのストーンの色に、選定色を変更します。

ストーン色濃度・形

- ・スライダーを動かすとデザインしたストーンの色の濃度を変化させることができます。好みの濃度で楽しみください。
- #2028** ボタンを押すと、**#2058** に変更され、ストーン形が先端のとがったストーンイメージに変更されます。好みのストーンを選んでください。

全配置のボタン

- ・ベース面積に配置がされていないストーン箇所全てに選定色でストーンを配置する。

全クリアのボタン

- ・ベース面積に配置が完了したストーンを全て削除して初期状態に戻す。

エクストラのボタン

- ・エクストラメニューを表示します。詳細は(7)エリア説明(13 ページ以降)を参照ください。

(6)エリアの機能説明



サンプル のボタン

- ・サンプルのデコレーションを表示します。

黒ロゴ のボタン

- ・黒ロゴか白ロゴに切替ます。好みに合わせて利用ください。

Help のボタン

- ・本ソフトのバージョン情報などを表示します。

会員ID のボタン

- ・押すと会員ID入力フォームが表示されますので、会員IDを入力ください。出力機能が利用できるようになります。

Blink Art School のボタン

- ・Webに接続してあると、Blink art Schoolのホームページに接続します。

HP のボタン

- ・Webに接続してあると、Blink Designer のホームページに接続します。各種のデザインサンプルがありますので参照してください。

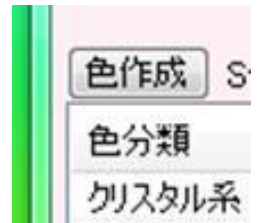
(7)エリアの機能説明

色の作成 ボタンを押すとストーン色の修正と追加が可能になります。

* 次ページ以降に詳細説明有り

基本 24 色が設定されていますが、色の修正や、さらに新規の色を作成して追加できます。

注意) 追加した色は他のパソコンで見る場合、追加した色が同様に設定されていないと該当ストーン色は白く表示されます。



エクストラ ボタンを押すとエクストラメニューバーが表示されます。

本メニューでは高度な配置を実現しますが操作が難しくなりますので、基本技法の操作方法を十分に習得してからご利用ください。

エクストラメニューで出来る事

1. ベース色変更

新規作成で設定したベースデザイン色を、デザイン途中で変更することができます。

ボタンを押すと色の設定フォームが表示されますので、希望の色に変更してください。色の変更方法は次ページの「色の作成」項を参照してください。

2. 自由配置: 次ページ以降に詳細説明有り

基本技法では、配置パターン上で同一ストーンサイズのデザインですが、自由配置を行うと次が可能になります。

- ・自由な位置にストーンを配置
- ・同一デザイン上に全てのストーンサイズの配置が可能
- ・円形や四角形のストーンデザインが簡単にできる

また、一度設定すると該当デザインは元の技法配置に戻すことができなくなります。

3. 背景図: 次ページ以降に詳細説明有り

画像、四角や丸型などの図形および文字を背景として追加できます。

v2.9.0 バージョンで機能と操作性を大幅にアップしました。

5. オフセット

全体的にストーンの配置位置を移動できます。下絵や外枠に対して全体的にストーン位置を移動することができます。

次ページ以降に詳細な操作方法を説明してありますので、十分に理解してからお使いください。

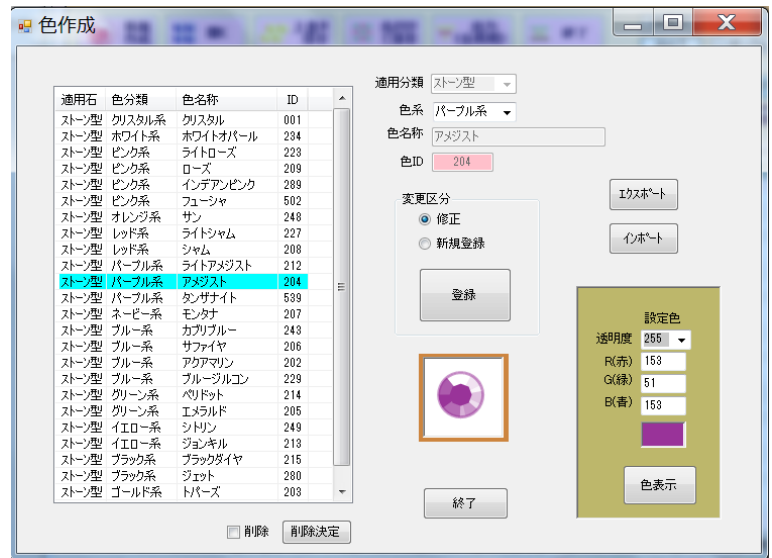


色の作成(ストーン色の修正/新規作成)

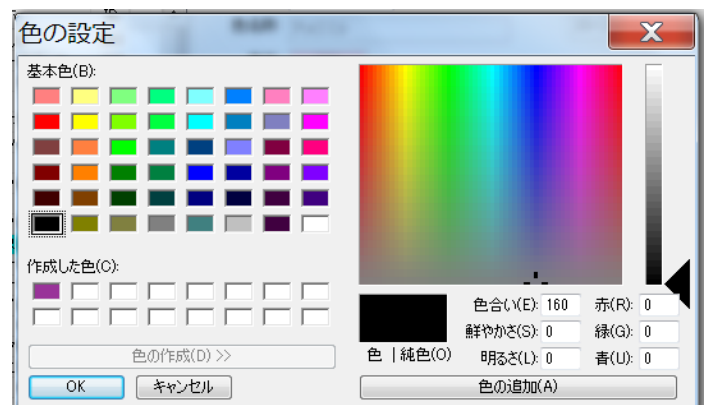
色の作成 ボタンを押すと、右図のフォームが表示されます。好みに合わせてストーン色を設定できます。

ストーン色を修正する場合

- ① 変更区分:修正をチェック
- ② 修正したい色名称をクリック
 - ・選定したストーン色が表示される
 - ・設定色
 - 透明度:色の透明度を表します。
0~255 でプルダウンから選定
(通常は 255 のまま)
 - R(赤): 赤色の強さ:0~255
 - G(緑): 緑色の強さ:0~255
 - B(青): 青色の強さ:0~255

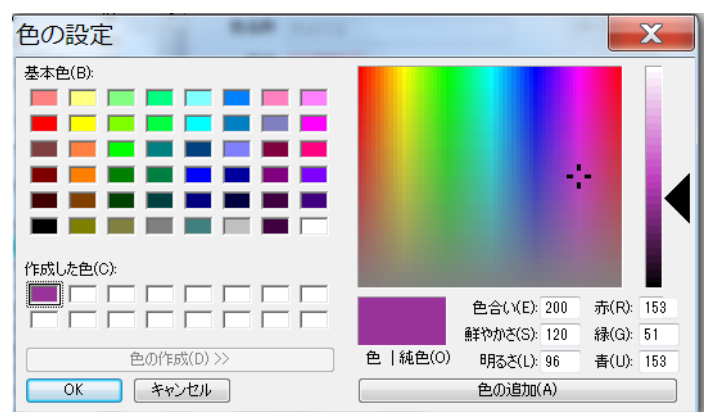


- ③ **色表示** ボタンを押すと、右図の色の設定フォームが表示されます。
- ④ 基本色から選ぶ場合は、好みの色をクリックして、OKボタンを押す。



- ⑤現在のストーン色をベースに詳細に色を設定する場合は以下のようにします。
 - a) 左下側にある作成した色をクリックすると、右図のように右側に色が表示されます。
 - b) 右側のカラー表示枠内の好きな色の箇所をクリックすると、その色に変わります。
 - c) また、色の明度は一番右の▼を上下に動かすと変化します。
 - d) 色の設定が終わったら、OKボタンを押します。

これで色の作成フォームに戻ります。



- ⑥色の作成フォームの中央にある **登録** ボタンを押すと色変更が完了します。この登録ボタンを押さないとストーン色に反映されませんのでご注意ください。

ストーン色を新規に作成する場合

- ① 変更区分:新規登録をチェック
- ② 色名称を入力する
- ③ 色IDに3桁番号を入力する。(数字のみ。英字、記号類は不可)
デフォルトで値が表示されていますが、スワロスキーのカラー番号などに入力し直してください。
注) 英字を使用した 001AB のカラー番号を表示しておりますが、これは、001999 を特殊処理して表示しています。(数字以外は使用不可です。なお、999 を付けると AB となります)
- ④ 上記の色修正と同様な方法でストーン色を設定ください。
- ⑤ 色の作成フォームの中央にある **登録** ボタンを押すと新規ストーン色が追加されます。合わせてメイン画面のカラーストーンにも追加されます。

ストーン色を削除する場合

- ① 表下側にある 削除のチェックボックスをチェックする。
- ② 表から削除したい色名称を選定する。
- ③ **削除決定** ボタンを押すと削除されます。(元に戻せません)

注) ストーン色を削除すると、削除したストーン色を使用しているデザインデータでは、その箇所は白色で表示され、ストーン色の抽出を行うとエラーとなります。

<エクスポート>

- ・**エクスポート** ボタンを押と、カラーファイルが出力できます。(他PCで読込できます)

<インポート>

- ・**インポート ボタン**を押と、カラーファイルを読込みできます。この時、現状のカラーファイルはクリアされますので、注意してください。

2. 自由配置

自由配置の開始 ボタンを押すと右図のフォームが表示されます。
また、デザイン画面の仮円が消えます。

ストーン配置操作方法

① ストーンサイズの変更

右図で“SS12”と表示されている右側の下矢印部をマウスで左クリックすると、全ストーンサイズが表示されるので、変更したいサイズにマウスカーソルを合わせてクリックする。

また、デザイナー画面上にカーソルを置き、マウススクロールをすることで変更もできます。

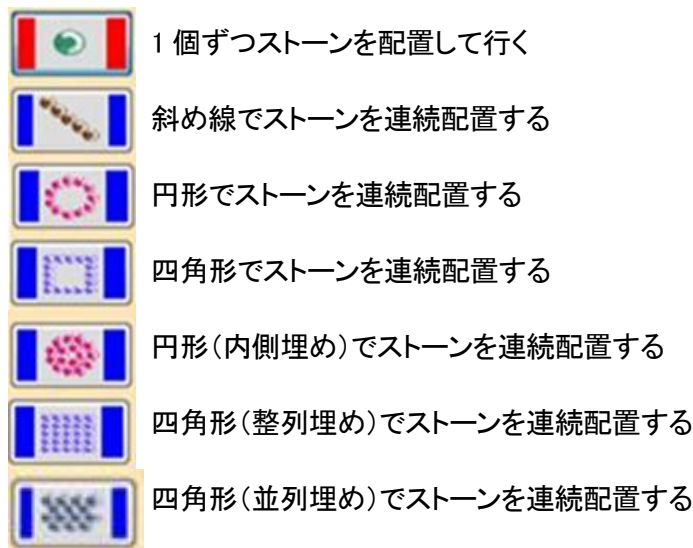
② 長十字線にチェックを入れると、デザイン画面での十字線が長く表示される。

③ 初期ストーン ボタンを押すと初期のストーンサイズに変更される。

④ ストーンの自由配置

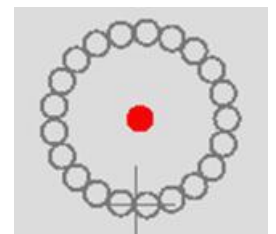
ボタンを押すと選択されたボタンの両端が赤くなる。

<各ボタンのストーン配置形状>



<ストーンの連続配置方法>

- ① 連続開始点をクリックする。開始点に赤丸がセットされる。
- ② マウス(カーソル)を移動すると、仮円が表示されるので、デザインしたい位置でマウスをクリックまたは、Enter キーを押すと連続してストーンが配置される。



なお、仮円の移動は次の2つの方法で行えます。

- a) マウスを移動 (移動が速いが、低精度)
 - b) キーボードの矢印方向キー(↑ ↓ ← ⇒)を押す。(移動が遅いが高精度)
- なお、Ctrl キーを押しながら矢印方向キーを押すと、ストーンサイズ1個分移動する。

重要) 配置済みストーンと干渉チェックをしていますので、少しでも他ストーンと干渉する位置に配置はしません。



⑤開始クリアのボタンを押すと開始点の赤丸がクリアされ、開始点位置を変えることができます。

⑥戻す矢印のボタンを押すと、連続配置の1回分づつストーンを戻していきます。

<v2.9.0 新機能>

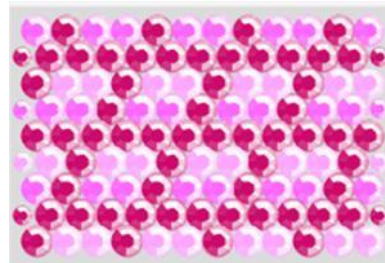
1 個づつストーンを配置する状態にしてある場合、
カーソルをストーン配置したい場所をクリックして、ドラックすると連続して自由に
曲線配置をすることができます。

<自由配置によるデザインサンプル>

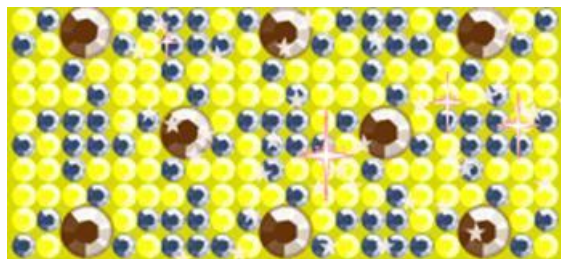
自由配置を行うと、任意のストーンサイズと配置デザインにより、ユニークなデザインを作成することが可能となります。

以下に単純なサンプルを示します。もっと複雑で綺麗なデザインができますので、ぜひ色々なデザインに挑戦してみてください。

- ・並列埋めデザイン→自由配置
- ・左右の空き部分に小さいストーンを配置



- ・整列埋めデザイン→自由配置
- ・大きなストーン配置
(ビューアーでキラキラ表示中)



作成方法(例)

- a) 整列埋めで全ストーンを配置
- b) 大きなストーンを配置する箇所のストーンを編集モード(右クリック)で削除
- c) 自由配置を行い、b)項で削除した位置に大きなストーンを配置

- ・→最初から自由配置化

作成方法(例)

- a) 背景画像を設定(次ページ参照)
- b) 自由配置モードで円、線の連続ストーン配置でデザインする



3. 背景図の作成

背景作成 ボタンを押すと右下図のフォームが表示されます。

表示 ボタンは作成した下絵をデザイン画面に表示するかどうかのボタンで、クリックすると下絵は表示されなくなります。



背景図の操作方法

作成した背景図は、上段のリスト表に表示されます。作成順に表示され、デザイン画面での表示もこの順番で表示されますので、絵を重ねる場合は、順番を考慮して作成する必要があります。

リスト表のアイテム削除は、項欄にチェックをして、**×** ボタンを押して削除します。

最初に、画像入力か図形入力か文字入力かの選択をします。
デフォルトは画像入力かになっています。

①画像入力

右図が画像入力フォームとなります。

a) **HP 画像DL** ボタン V2.9.0 新機能

Blink Designer のホームページに接続し、自動で基本画像をダウンロードします。ボタンの右側に基本画像の版数番号が表示されます。新しい版数が公開された場合はHP画像DLボタンを押して再取込みしてください。なお、PC はネットに接続してある必要があります。

b) **新規画像取込み** ボタン

自分で編集した画像などを取込みます。ファイル読込フォームが表示されますので、取込みファイル名を指定して取込みください。

c) 図の大きさ

◆縮小/拡大

- ・上記 a) でダウンロードし、表示された画像をクリックして選択します。
 - ・選択した画像が下側の表示枠に表示される
 - ・右側のスライダーまたはボタン(小、大)をおすと選択画像の大きさを変更できる
 - ・希望の大きさにしたらデザイン画面にカーソルを移動し、希望の位置でクリックすると、画像を配置します。
- なお、この時、マウスのスクロールをすると、画像の大きさを変更することができます。

◆背景全面

デザイン画面の外形サイズに合わせて、画像が表示されます。

d) 図の回転

- ・ボタンを押すと画像を回転することができます。90° 単位で回転

e) 図形変形

- ・スライダーを動かすと画像を変形することができます。
- ・元の画像に戻す場合は、**R** ボタンを押す。



②図形入力

図形入力を押すと、右図のようにフォームが変化し、図形入力フォームとなります。

- a) 図形の形状をリストから選択します。(右図では“円形”選択中)
- b) 図形の大きさは、スライダー移動かボタン(小、大)を押して変更することができます。
・希望の大きさにしたらデザイン画面にカーソルを移動し、希望の位置でクリックすると、図形を配置します。
なお、この時、マウスのスクロールをすると、図形の大きさを変更することができます。

マウス カーソルをデザイン画面上に移動すると、仮図形が表示されます。任意の位置に移動して、左クリックまたは、キーボードの Enterキーを押すと、図形が登録されます。

< 図形は次の方法で移動 >

- a) マウスを移動 (移動が速いが、低精度)
- b) キーボードの矢印方向キー(↑ ↓ ← ⇒)を押す。
(移動が遅いが高精度)

なお、**Ctrl**キーを押しながら矢印方向キーを押すと、ストーンサイズ1個分移動する。

- c) 図形の色を設定するため、色ボタンを押す。

* **不透明** ボタンを押すと、図形が半透明になり、下側の図が透して見えます。

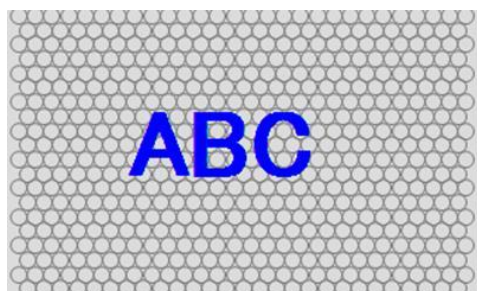
③文字入力

文字入力を押すと、右図のようにフォームが変化し、文字入力フォームとなります。

- a) 入力文字欄に表示したい文字を入力します。(漢字可)
- b) 文字のサイズをプルダウンリストから選択します。
- c) 文字種をプルダウンリストから選択します。
- d) 文字の色を選択します。

入力方法は図形入力と同じ

デザイン画面上の表示



＜背景図によるデザインサンプル＞

1. 画像の背景サンプル

- ・画像の取り込み
- ・デザイン画面サイズを名刺入れの外形寸法に合わせて設定する。
- ・ストーンは自由配置デザイン



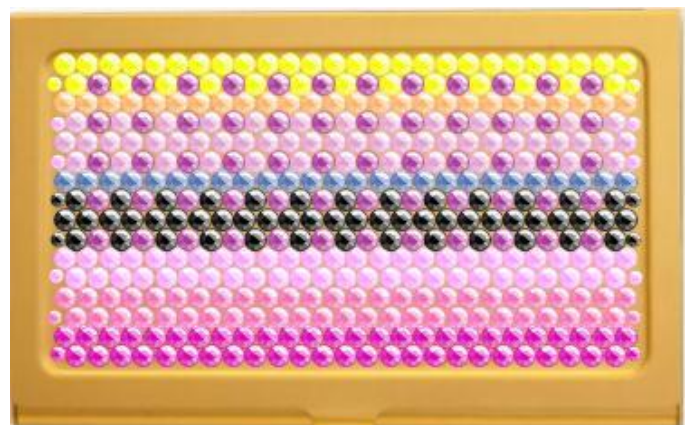
2. 文字の下絵サンプル

- ・文字の作成、画像の作成
- ・自由配置デザイン



3. 画像の背景サンプル

- ・画像の取り込み
- ・デザイン画面サイズを名刺入れの外形寸法に合わせて設定する。
- ・ストーンは自由配置デザイン



7. 利用制限について

本ソフトはブリンク・アート・スクール会員様向けのため、会員 ID をお持ちでない場合は、“出力機能”は使えませんのでご了承ください。

8. 著作権

本ソフトウェアに関する著作権はすべてブリンク・アート・スクールにあります。

9. 免責事項

- ・本ソフトウェアによって生じた如何なる不具合、損害において一切の責任を負いません。各自の責任においてご利用ください。
- ・本ソフトに対するご質問におこたえできない場合があります。
- ・本ソフトの仕様はお客様に連絡なしに変更される場合があります。

10. 最後に

- ・本ソフトのバグ報告やご意見/ご要望などありましたら、下記へメールまたはホームページからお願いいたします。

メールアドレス: ra32748@fc4.so-net.ne.jp

ただし、ご返事はできない場合がありますのでご了承ください。

- ・お客様からの報告に対して可能な限り改善していきたいと思っております。

以上

(履歴)

2012/02/08 : 初版作成 (V1.0.0)

2012/06/01 : 2 版作成 (V2.00)

- ・行列の手動設定追加
- ・編集に同一色の一括変更機能追加
- ・ビューアの変更(画像出力、印刷機能他)
- ・エクストラメニューの追加
- ・他

2012/09/07 : 2.5 版作成 (V2.5.0)

- ・背景に画像取込み機能追加
- ・他

2012/12/10 : 2.6 版作成 (V2.6.0)

- ・自由配置に円形、四角形などのデザイン配置機能追加
- ・他

2013/1/31 : 2.7 版作成 (V2.7.0)

- ・ストーン色の濃度・形の変更機能追加
- ・ストーン削除に同一色の一括削除機能追加
- ・新規設定の背景色の設定ワンタッチ化
- ・自由配置に並列埋めを追加
- ・他

2013/3/7 : 2.8.0 版作成 (V2.8.0)

- ・出力(会員用)に紙印刷機能を追加
- ・デザイン背景色をデザイン途中から変更できる機能追加
- ・ストーン色を少し変更

2013/10/20 : 2.9.0 版作成 (V2.9.0)

- ・背景作成機能の向上
- ・自由配置でのマウスドラックによる連続ストーン配置機能追加 他

2013/11/27 : 2.9.1 版作成 (v2.9.1)

- ・海外でのインストール不可を改善

2017/4/1 : 3.0.01 版作成 (v3.0.0)

- ・W10 で動作するように変更 (Dドライブを使用しない)
- ・インストールなしで動作へ